

JVC

LYT2375-001A-M

JP

準備する

撮影する

再生する

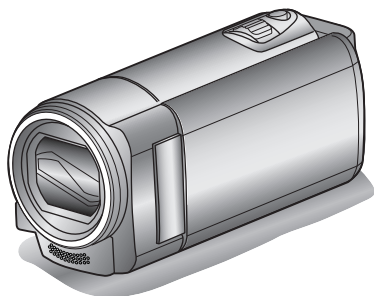
保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM238**

基本取扱説明書



Everio

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、「安全上のご注意」(p. 2) および「使用上のご注意」(p. 28) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



Web ユーザーガイド

本製品には「基本取扱説明書」(本書)と「Web ユーザーガイド」があります。詳しい取り扱い方法は下記アドレスの「Web ユーザーガイド」をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.co.jp/c1a/lyt2269-029jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。



安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。
絵表示の説明

| 注意、警告が必要なこと | 禁止されていること | 実行して欲しいこと |
|--|---|--|
|  一般的注意 |  禁止 |  一般的指示 |
|  感電注意 |  分解禁止 | |
| |  ぬれ手禁止 | |
| |  水場での使用禁止 | |

万一異常が発生したときは


- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などがいった
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

➔

**バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。


危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはいししない

 **禁止**

- プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
- 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温 (60°C以上) になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
・ 幼児の手の届くところには置かないでください。


 **禁止** **変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**

- ・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。)
- ・ ご購入時は充電されていません。充電しておいでください。
- ・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。


● **長期間使わないときは…**

- ①劣化を防ぐため、使い切ってから取り外します。(撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
- ②半年に一回程度は充電し、使い切って保管します。


警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

 **禁止** **内部に物を入れない**


- ・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

 **禁止** **レンズを直射日光などに向けない**

- ・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

 **禁止** **乗り物を運転中に使用しない**

- ・ 交通事故の原因になります。

 **禁止** **雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**

- ・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
- ・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

水場での使用禁止



警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。



付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほりやりや金属を付着させない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。



雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。



ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



注意

「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



5年に1度は内部の点検を販売店に相談する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。



病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。



三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください、しっかりと取り付けてください。



移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。



湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。



熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

もくじ

| | | | |
|---------------------|----|-----------------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 | テレビで映像を見る | 14 |
| 付属品を確かめる | 4 | ▶ 保存する | 16 |
| 各部のなまえとはたらき | 5 | いろいろな保存のしかた | 16 |
| ▶ 準備する | 6 | DVD レコーダーやビデオデッキにつないでダビングする | 17 |
| バッテリーを充電する | 6 | パソコンに保存する | 18 |
| グリップベルトを調節する | 7 | ▶ その他 | 21 |
| ハンドストラップとして使う | 7 | メニュー操作のしかた | 21 |
| SD カードを入れる | 8 | 撮影時間 | 25 |
| 時計を合わせる | 10 | 困ったときは | 26 |
| ▶ 撮影する | 12 | 使用上のご注意 | 28 |
| 動画撮影 | 12 | 仕様 | 30 |
| ▶ 再生する | 13 | 保証とアフターサービス | 31 |
| 本機で映像を見る/削除する | 13 | | |



Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書" (本書) と "Web ユーザーガイド" があります。詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド" をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.co.jp/c1a/lyt2269-029jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)

付属品を確かめる

AC アダプター
AC-V11※



バッテリー
BN-VG107



USB ケーブル
(A タイプ・ミニ B タイプ)



AV コード



CD-ROM



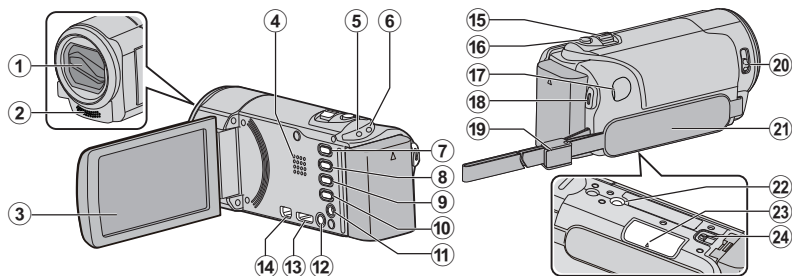
基本取扱説明書
(本書)



- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 8 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

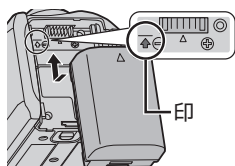


- ① レンズカバー
- ② モノラルマイク
- ③ 液晶モニター
開閉すると、電源を入切できます。
- ④ スピーカー
- ⑤ ACCESS(アクセス)ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ
(p. 6)
- ⑦ 再生/録画ボタン
撮影と再生を切り換えます。
- ⑧ UP/<ボタン
UP : スクロール/カーソルを上へ移動します。
< : 早戻し
- ⑨ DOWN/>ボタン
DOWN : スクロール/カーソルを下へ移動します。
> : 早送り
- ⑩ OK/INFO ボタン
選択を決定します /ファイル情報を表示します。
撮影 : 撮影残量時間とバッテリー残量を表示します。
再生 : 撮影日などのファイル情報を表示します。
- ⑪ AV 端子(p. 15、17)
- ⑫ MENU ボタン(p. 21)
- ⑬ HDMI(Mini)端子(p. 14)
- ⑭ USB 端子(p. 20)
- ⑮ ズームレバー/音量調整/インデックス表示
(p. 12、13)
- ⑯ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン
(p. 12)
- ⑰ DC 端子(p. 6)
- ⑱ START/STOP(録画/停止)ボタン
(p. 12)/
▶/|||(再生/一時停止)ボタン(p. 13)
- ⑲ ストラップロック(p. 7)
- ⑳ レンズカバースイッチ(p. 12)
- ㉑ グリップベルト(p. 7)
- ㉒ 三脚取り付け穴
- ㉓ SD カードスロット(p. 8)
- ㉔ バッテリー取りはずしレバー(p. 6)

バッテリーを充電する

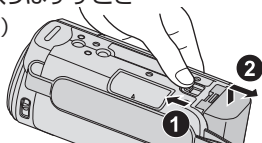
1 バッテリーを取り付ける

*ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

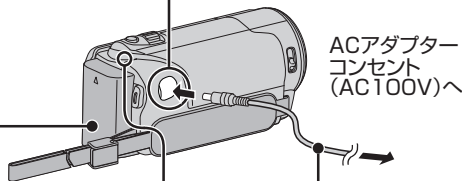
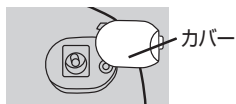


- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

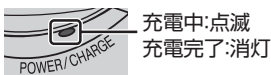
■ 取りはずすとき
(底面)



2 DC端子につなぐ



3 コンセントにつなぐ 充電ランプ

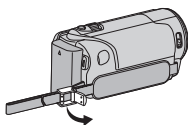


ご注意

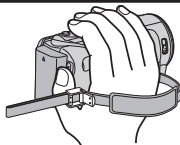
必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間: 約 1 時間 50 分 (付属バッテリーの場合)
- ※ 25℃ で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃ の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。
- USB ケーブルを使っても充電できます。(詳しくは Web ユーザーガイドへ)

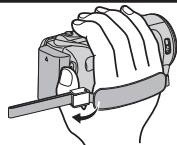
グリップベルトを調節する



① 止め具のロックレバーを開く



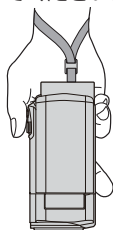
② ベルトの長さを調節する



③ ロックレバーを閉じる

ハンドストラップとして使う

ベルトの長さを調整して、手首を通してください。



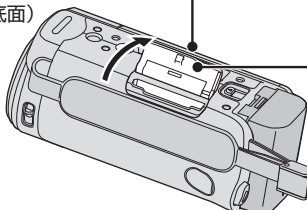
SDカードを入れる

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p.9)

カードがない場合は、「記録メディア設定」を「内蔵メモリー」にして撮影してください。

1 液晶モニターを閉じる

(底面)

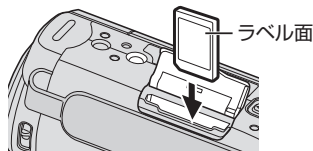


※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

※ 液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 カバーを開ける

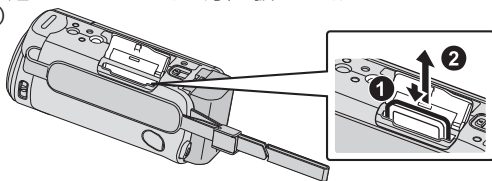
3 SDカードを入れる



■ 取り出すとき


カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

(底面)



お知らせ

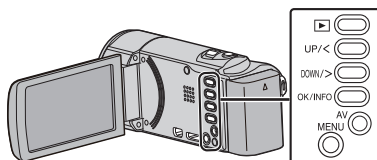
次のSDカードで動作を確認しています。

| | |
|--|---|
| メーカー名 | パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、ATP、Eye-Fi* |
| 動画  | Class 4 以上対応のSDカード(2GB)、Class 4 以上対応のSDHCカード(4GB~32GB)、またはClass 4 以上対応のSDXCカード(48GB~64GB) |
| Eye-Fi | Eye-Fi Connect X2 / Eye-Fi Explore X2 / Eye-Fi Pro X2 |

*指定モデルのみ、お使いください。詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- SDカードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- Eye-Fi は SD カードに無線 LAN 機能を内蔵しています。
- メニューの「シームレス撮影」設定を「入」にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずに SD カードに続けて記録できます。(「シームレス撮影」の設定は、Web ユーザーガイドをご覧ください。)

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



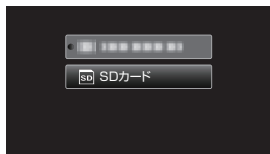
■ SD カードを使うときは

"記録メディア設定"を "SDカード"に変更すると、カードを使って記録や再生ができます。

- ① MENU を押す
- ② "記録メディア設定"を選んで、OK を押す



- ③ "SDカード"を選んで、OK を押す



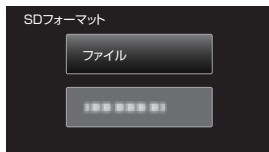
■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

メディア設定の "SDフォーマット" でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- ① MENU を押す
- ② "メディア設定"を選んで、OK を押す
- ③ "SDフォーマット"を選んで、OK を押す



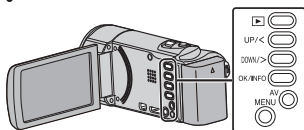
- ④ "ファイル"を選んで、OK を押す



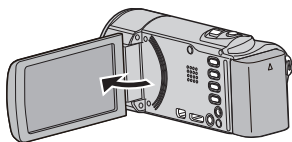
- ⑤ "はい"を選んで、OK を押す
- ⑥ フォーマットが終わったら、OK を押す

時計を合わせる

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。

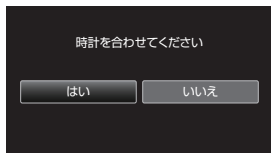


1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、OK を押す



3 日時を設定する



- UP/<または DOWN/>で設定値を調整して、OK を押すと確定します。次の項目にカーソルが移動します。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 UP/<または DOWN/>を押して、お住まいの地域を選んで、OK を押す

- 都市名と時差が表示されます。



- 一つ前の画面に戻るとき MENU を押します。

時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ" から時計を合わせてください。

- ① MENU を押す
- ② "時計合わせ" を選んで、OK を押す



- ③ "日時設定" を選んで、OK を押す



- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3 ~ 4 と同じです。

お知らせ

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください" が表示されます。24 時間以上充電してから、時計を設定してください。

動画撮影

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスを自動的に調整します。

※ 逆光 (☀️)、夜景 (🌙)、人物 (👤) の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

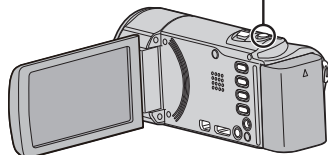
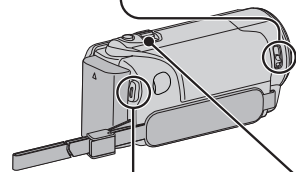
大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 レンズカバーを開ける



2 撮影モードが i.A. インテリジェントオートか確認する

- **M** マニュアルになっているときは、**1/AUTO** を押して切り替えます。
- 押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルが切り替わります。



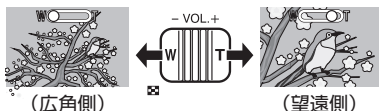
ズームを使う

3 撮影を開始する

- もう一度押すと、停止します。



START/STOP



※ "動画画質" の設定によって、ズーム倍率が異なります。(P.30)

■ 動画撮影中の表示

手ぶれ補正 (P.22)

記録メディア

動画画質

バッテリー残量

● REC

● || : 停止中

● REC : 録画中

シーンカウンタ

0:00:00 [000:22]

撮影可能時間

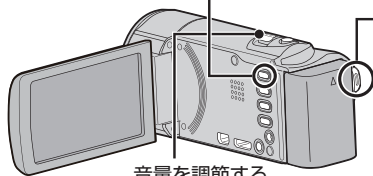
お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 40 分です。(p. 25)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ACアダプター、SD カードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。"記録メディア設定"(p. 9)で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。

1 再生モードにする



音量を調節する

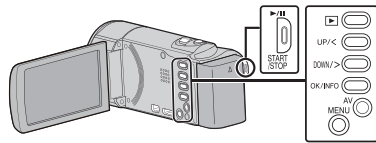


2 再生する動画を選び、▶/||を押し



START/STOP

- カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたはDOWN/>ボタンを使用してください。



- もう一度▶を押すと撮影モードに戻ります。

■ インデックス画面から選択したファイルを削除するには

- MENU を押して "削除" を選んで、OK を押す
- "選択して削除" を選んで、OK を押す

- UP/<または DOWN/>を押してファイルを選択して、OK を押す
- MENU を押して "実行する" を選んで、OK を押す
- 削除が終わったら、OK を押す

■ 再生中に使える操作ボタン/レバー

| | 動画再生中 | 動画一時停止中 |
|----------------|-------|--------------|
| ▶/ | 一時停止 | 再生 |
| ズーム | - | 停止(サムネイルに戻る) |
| ズーム(T) / Vol.+ | 音量増加 | - |
| ズーム(W) / Vol.- | 音量減少 | - |
| UP/< | 早戻し | コマ戻し |
| DOWN/> | 早送り | コマ送り |

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

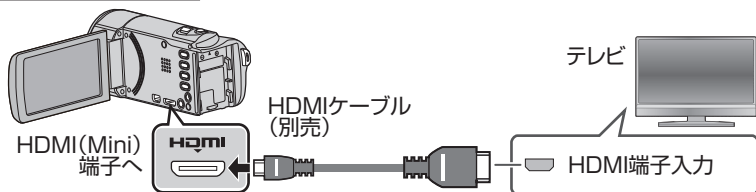
※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源を切る。

■ ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ



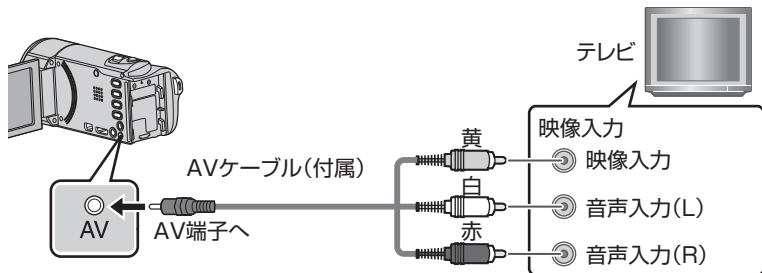
お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- HDMI ケーブルは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができません。

AV 端子でつなぐ



2 AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (p. 13)

■ 日時などを表示して再生したいときは

"接続設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にしてください。(p. 24)

また、再生メニューの"画面表示"を"入"にしてください。(p. 23)










■ テレビの表示が不自然なときは

| | |
|---------------|--|
| テレビに正常に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。 |
| テレビに縦長に映る | <ul style="list-style-type: none"> ● "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。(p. 24) |
| テレビに横長に映る | <ul style="list-style-type: none"> ● テレビ側で画面を調整してください。 |
| 不自然な色で映る | <ul style="list-style-type: none"> ● "x.v.Color"が"入"の状態では撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。 ● テレビ側で画面を調整してください。 |

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

- : 記録/再生できる
- △ : 再生のみできる
- : 記録/再生できない

| メディアの選択 | 標準画質 | | ハイビジョン画質 | | | 参照ページ | |
|---------|---|--|---|--|--|-------|--------------------|
| |  VHS (VHS テープ) |  DVD (DVD ディスク) |  AVCHD DVD (DVD ディスク) |  Blu-ray Disc (ブルーレイ ディスク) |  HDD (機器内蔵 の HDD) | | |
| 使用する機器 | ブルーレイレコーダー  | — | ○ | △ ※1 | ○ ※1 | ○ | レコーダーの取扱説明書をご覧ください |
| | DVDレコーダー  | — | ○ | △ ※1 | — | ○ | p. 17 |
| | ビデオデッキ  | ○ | — | — | — | — | p. 17 |
| | パソコン  | — | ※2 | ※2 | ※3 | ○ | p. 18 |

※1 AVCHD 対応機器のみ

※2 パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

※3 付属のソフトウェアではブルーレイディスクは作成できません。ブルーレイディスクを作成するためには、市販のソフトウェアをお使いください。

お知らせ

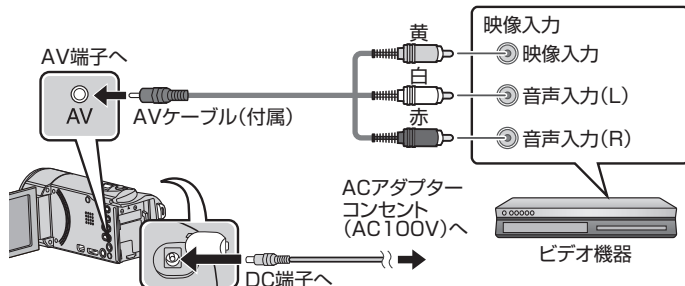
- DVDライター、外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクと接続して保存することはできません。

DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVDレコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。テレビやDVDレコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

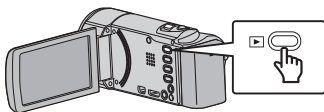
1 ビデオ機器に接続する

- 電源を切る。



- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

2 再生/録画を押して、再生モードにする



3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-Rやビデオテープなどを入れます。

本機の準備

- "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("4:3"または"16:9")に合わせます。(p.24)



4 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

パソコンに保存する

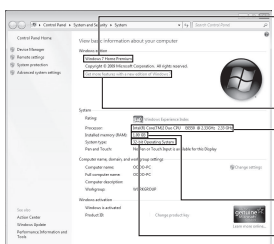
パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。

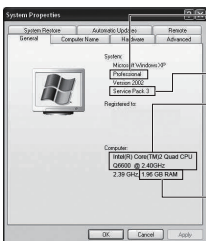
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合



- **Windows 7**
Home Premium(プリインストール版のみ)
- **Windows Vista**
Home BasicまたはHome Premium
(共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 2(Windows Vistaのみ)
- **プロセッサ**
Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
- **メモリー**:2 GB以上
- **システムの種類**:32ビット/64ビット

■ Windows XP の場合



- **Windows XP**
Home EditionまたはProfessional(共にプリインストール版のみ)
- **Service Pack 3**
- **プロセッサ**
Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
- **メモリー**:1 GB以上

■ そのほかの条件

ディスプレイ: 1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)

グラフィック: Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09、'11 (動画) を使っても、コンピューターにファイルを取り込めます。

コンピューターの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

- iMovie の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie の操作については、ソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフトをインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

Windows Vista / Windows 7 の場合

- ① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行" をクリックする。
 - ② ユーザーアカウント制御画面で "続行" をクリックする。
- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ" が表示されます。
 - 表示されないときは、"マイコンピュータ" のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP の場合

- 手順 2 へ進みます。

2 "Everio MediaBrowser 3" をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了" をクリックする

4 "終了" をクリックする



Everio



Everio

MediaBro...

MediaBro...

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

お知らせ

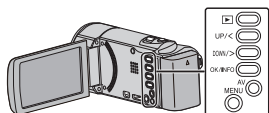
Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 2 で "Web ユーザーガイド" をクリックしてください。

すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。

- 本機の LCD モニターを閉じて、電源を切ってください。電源プラグをはずしてください。

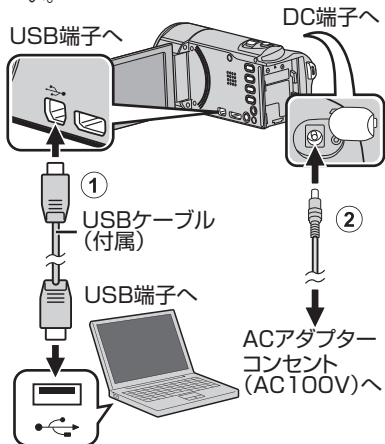
カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



1 液晶モニターを開く

2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 付属の AC アダプターを使用してください。



- 電源プラグを再接続してください。

3 "パソコンと接続"を選んで、OK を押す

4 "バックアップする"を選んで、OK を押す



- パソコンで付属ソフト Everio Media-Browser が立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

5 ポリウムを選ぶ



6 バックアップを開始する



7 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

- ① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

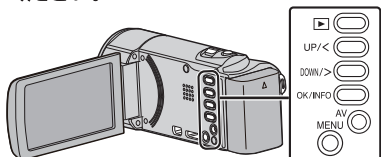


- ② "USB 大容量記憶装置へ"をクリックする
- ③ (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- ④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



1 MENU を押す

2 設定したいメニューを選んで、OK を押す



3 設定を変更し、OK を押す



■ 一つ前の画面に戻るとき

MENU を押します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー ※

マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。
(マニュアル撮影時のみ表示されます)

- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには (p. 12)
- ▶ マニュアル設定メニュー (p. 22)

顔優先 A E / A F

人物の顔に枠が付き、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

シームレス撮影

記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

x.v.Color

より忠実に色を記録します。
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

記録メディア設定

動画を記録するメディアを設定します。

表示設定 (p. 24)

本体設定 (p. 24)

接続設定 (p. 24)

メディア設定 (p. 24)

マニュアル設定メニュー

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
☑ ナイトアイ: 周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。
☑ スポットライト: ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

※「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、(p. 24)をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、p. 21 をご覧ください。

■ 動画再生メニュー ※

削除

不要な動画を削除します。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーからSDカードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーからSDカードに移動します。

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

記録メディア設定

動画を再生するメディアを設定します。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

表示設定 (p. 24)

本体設定 (p. 24)

接続設定 (p. 24)

メディア設定 (p. 24)

■ 共通設定メニュー

表示設定メニュー

LANG./言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

本体設定メニュー

デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

接続設定メニュー

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比(16:9または4:3)に設定します。

HDMI 出力

テレビのHDMI端子に接続するときに、本機のHDMI端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC規格に対応するテレビと連動します。

メディア設定メニュー

SD フォーマット

SDカードのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間

動画の撮影可能時間や撮影時間は、OK/INFO ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

| 画質 | 内蔵メモリー 8 GB | SDHC/SDXC カード | | | | | |
|-----|----------------|---------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | | 4 GB | 8 GB | 16 GB | 32 GB | 48 GB | 64 GB |
| UXP | 40 分 | 20 分 | 40 分 | 1 時間 20 分 | 2 時間 50 分 | 4 時間 20 分 | 5 時間 50 分 |
| XP | 50 分 | 30 分 | 1 時間 | 2 時間 | 4 時間 10 分 | 6 時間 10 分 | 8 時間 20 分 |
| SP | 1 時間 20 分 | 40 分 | 1 時間 20 分 | 2 時間 50 分 | 5 時間 50 分 | 8 時間 40 分 | 11 時間 50 分 |
| EP | 3 時間 20 分 | 1 時間 40 分 | 3 時間 40 分 | 7 時間 10 分 | 14 時間 50 分 | 21 時間 50 分 | 29 時間 50 分 |

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

| バッテリー | 実撮影時間 | 連続撮影時間 |
|----------|-----------|-----------|
| BN-VG107 | 40 分 | 1 時間 05 分 |
| BN-VG114 | 1 時間 15 分 | 2 時間 10 分 |
| BN-VG121 | 1 時間 55 分 | 3 時間 15 分 |
| BN-VG138 | 3 時間 20 分 | 5 時間 45 分 |

- "モニター明るさ"が"3"(標準)のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 以下の「こんなときは…」をご覧ください。
- Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。
 使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
 - <http://manual.jvc.co.jp/index.html/>
 - 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)
- ビクターホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。
 - <http://www.victor.co.jp/>
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。
 そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。
 - 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)
 - 電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続すると自動的に本機の電源が入ります。
- 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス(裏表紙参照)にお問い合わせください。

こんなときは…

| こんなときは | | ここを確かめてください | 参照ページ |
|--------|-------------------------------|---|-------|
| 電源 | 画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する | <ul style="list-style-type: none"> バッテリーの充電中です。 | 6 |
| | 撮影できない | <ul style="list-style-type: none"> ▶(再生/録画)ボタンで撮影モードにしてください。 | 13 |
| 撮影 | 自動的に撮影が停止した | <ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) | - |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。 | - |
| 再生 | 日付表示が出ない | <ul style="list-style-type: none"> 再生メニュー "画面表示" を設定してください。 | 23 |
| | 音や映像が途切れる | <ul style="list-style-type: none"> シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。 | - |

| | | | |
|-----|----------------------------|--|--------|
| その他 | 一覧表示(サムネイル表示)に見たい映像が表示されない | <ul style="list-style-type: none"> 撮影モードのメニューの"動画画質"を設定してから、再生モードにしてください。 | 13 |
| | 充電中、ランプが点滅しない | <ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。) | 6 6 |
| | 本機が熱くなる | <ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。) | - |

こんな表示がでたら…

| こんな表示がでたら | ここを確かめてください | 参照ページ |
|----------------------------------|---|------------------|
| 内蔵メモリーへ記録できませんでした/カードへ記録できませんでした | <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れ直してください。 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"メディア設定"メニューの"メモリーフォーマット"または"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。) | - - |
| 撮影データが少ないため保存できません | <ul style="list-style-type: none"> 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 | - |
| 内蔵メモリーエラー/カードエラー | <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れ直してください。 ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。 SDカードの端子の汚れを取り除いてください。 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"メディア設定"メニューの"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。) | - - - - |
| レンズカバーを確認してください | <ul style="list-style-type: none"> レンズカバーが閉じているとき、または周りが暗いときに電源を入れると、約5秒間表示します。 | - |

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
この処理は、お客様の責任において行ってください。
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CD を BGM とするムービーを編集する場合は、音楽 CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと **x.v.Color** は商標です。
- HDMI[®] (High-Definition Multimedia Interface) と **HDMI** は、HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby, ドルビーとダブルD 記号は、ドルビーラポラトリーズの商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iMovieは、米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core, Pentium, Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Eye-Fiはアイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

液晶画面について

- 表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります

仕様

| カメラ本体 | |
|-----------|--|
| 電源 | ACアダプター使用時:DC 5.2 V、バッテリー使用時:DC 3.5 V - 3.6 V |
| 消費電力 | 2.2 W ("モニター明るさ"が"3"(標準)の場合) |
| 外形寸法(mm) | 50.5 mm x 55 mm x 110.5 mm (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず) |
| 質量 | 約 185 g(本体のみ)、約 215 g(付属バッテリー含む) |
| 動作環境 | 許容動作温度:0℃ ~ 40℃、許容保存温度:-20℃ ~ 50℃、 許容相対湿度:35% ~ 80% |
| 映像素子 | 1/5.8 型 150 万画素 プログレッシブ CMOS |
| 撮像エリア(動画) | 63 万画素 ~ 105 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード入) 63 万画素 ~ 125 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード切) |
| レンズ | F1.8 ~ F6.3、f= 2.9 mm ~ 116.0 mm 35mm カメラ換算: 45.6 mm ~ 1,824 mm(手ぶれ補正 アクティブモード入)、 42.0 mm ~ 1,680 mm(手ぶれ補正 アクティブモード切) |
| ズーム(動画) | 光学ズーム:等倍 ~ 40 倍 デジタルズーム:~ 200 倍 |
| 動画記録方式 | AVCHD 規格準拠、映像: AVC/H.264、音声: Dolby Digital (2ch)(モノラル) |
| 記録メディア | 内蔵メモリー(8 GB)、SDHC/SDXC カード(市販)、Eye-Fi カード(市販) |
| 時計用電池 | 二次電池 |

| AC アダプター(AC-V11)※ | |
|-------------------|--|
| 電源 | AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz |
| 出力 | DC 5.2 V、1 A |
| 許容動作温度 | 0℃ ~ 40℃(充電時は 10℃ ~ 35℃) |
| 外形寸法(mm) | 66 mm x 28 mm x 47 mm (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを 含まず) |
| 質量 | 約 71 g |

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」(P.26) にしたがって、まずはお確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報

<http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/>

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター



0120-727-231

(受付時間 10:00~18:00)
・年末年始、祝日、休業日を除く

フリーダイヤルが使用できない場合 ☎ 06-6633-2990

ホームページ <http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/>

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
にご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター



0120-2727-87

(月曜~金曜 9:30~18:00
土曜 9:30~12:00、13:00~17:30)
・日曜祝日、弊社休業日を除く

2011年4月から名称および電話番号が変更になりました。

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは ☎ 045-450-8950

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.31をご覧ください。



ユーザー登録
のすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。

<http://www.victor.co.jp/reg/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

- 本書の内容は2011年7月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。

